

# 朝日工業社グループが目指す姿

## 企業理念

### MISSION (使命)

私たちは、地球環境と資源を大切にしながら、  
空気・水・熱の科学に基づく高度な技術によって、  
最適空間を創造し、人類文化の発展に貢献する。

### SPIRIT (精神)

私たちは、エンジニアリング・コンストラクターとして  
積極的な事業展開を図る。

私たちは、たえず未来を見つめた技術の開発に取り組み、  
時代の変化に俊敏に対応する。

### POLICY (方針)

〈会社〉 人間尊重の経営

〈職場〉 働きがいのある職場

〈社員〉 自己研鑽とチャレンジ精神溢れる行動

#### 企業理念の解説

朝日工業社の企業理念は MISSION (使命)、SPIRIT (精神)、POLICY (方針) の3部から構成されています。

▶▶ 朝日工業社の企業としての社会的使命、事業領域、存在意義を示したものであり、企業理念体系の根幹です

私たちの社会的使命	私たちの事業領域	私たちの存在意義
地球環境の保全 資源の有効活用	「空気」「水」「熱」の科学に基づく 高度な技術による最適環境の創造	人類文化の成長と発展への貢献

▶▶ MISSION (使命) に基づいた朝日工業社の事業に取り組む基本姿勢=経営精神を示したものです



▶▶ MISSION (使命)、SPIRIT (精神) に基づき、「会社」「職場」「社員」それぞれの在り方を示したものです

〈会社〉の在り方 人こそが最大の財産である	社員一人ひとりの個性、意欲、創意、夢、心を大切にして、 人的資本経営を推進する
〈職場〉の在り方 「働きがいのある職場」づくり	朝日工業社グループで働くことに生きがいを感じ、技術で社会に貢献している というプライドを持つことができる職場づくりに取り組む
〈社員〉の在り方 朝日工業社の社員像	社員の一人ひとりが自ら能力を磨き、 未知なるものに向かってチャレンジし、行動する

## Contents

<b>01</b> Introduction	<b>13</b> 朝日工業社グループの価値創造
01 企業理念(目指す姿)	13 価値創造ストーリー
03 事業内容・事業領域	15 価値創造のための重要な経営資本
05 価値創造の歴史	17 成長戦略(長期ビジョン・中期経営計画と進捗)
07 財務・非財務ハイライト	21 価値創造メッセージ
	23 ビジネスモデルと強み
<b>09</b> Top Message	<b>25</b> 朝日工業社グループの事業紹介
	25 設備工事業と施工事例
	29 機器製造販売事業
	31 研究開発
	<b>35</b> [特集] オンリーワン・カンパニーへの挑戦
	35 空調技術が紡ぐワクチン開発のあらたな局面
	37 さまざまな可能性に挑戦する新技術研究所

<b>39</b> 朝日工業社グループのサステナビリティ
43 事業活動を通じたサステナビリティにつながる取り組み
45 環境マネジメント
46 気候変動への対応
49 社会とのかかわり
49 お客様のために
53 ビジネスパートナーとともに
55 従業員とともに
61 地域社会の一員として
<b>63</b> ガバナンス
63 コーポレートガバナンス
67 役員紹介
70 社外取締役ダイアログ
73 サクセッションプラン
74 コンプライアンス
75 リスクマネジメント
76 株主とのコミュニケーション

<b>77</b> コーポレートデータ
77 11年間財務サマリー
79 株式情報
80 会社概要

#### ■本レポートの対象範囲

対象組織  
株式会社朝日工業社単体を基本とし、内部統制やコンプライアンスなどに関してはグループ全体を対象としています。また、業績は連結の数値を使用しています。

対象期間  
2023年度(2023年4月1日~2024年3月31日)を基本とし、必要に応じて2022年度以前および2024年度以降の活動内容も記載しています。

#### ■編集方針

本レポートは、朝日工業社グループの中長期的な企業価値向上と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、株主や投資家、従業員とご家族など、さまざまなステークホルダーの皆さまにご理解いただくための「統合報告書」です。編集にあたっては、価値報告財団(VRF)の「国際統合報告フレームワーク」や経済産業省「価値協創ガイダンス」などのガイドラインを参考にしています。

#### ■参考としたガイドライン

価値報告財団(VRF)「国際統合報告フレームワーク」  
経済産業省「価値協創ガイダンス」  
ISO26000「社会的責任に関する手引」

#### ■お問い合わせ先

株式会社朝日工業社 経営統括グループ 経営企画室  
TEL.03-6452-8181

#### ■免責事項

本レポートには、朝日工業社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時における計画や見通しなどの将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定なしの判断であり、諸条件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。